

鳥取市防災アプリ

お持ちのスマートフォンに防災情報をお知らせします。マナーモードであっても緊急情報受信時は強制的に通知音が鳴動するように設定できます。

防災行政無線やJアラートと連動し、正確かつ迅速な情報提供を行います。



Android 版



iOS 版

正しい防災情報を入手するために

災害発生時は、SNSなどで誤った情報や不確かな情報が拡散されることがあるため、注意が必要です。本市では、市民のみなさんに正確な防災情報を収集していただけるよう、さまざまな情報伝達ツールを提供しています。

鳥取市防災ラジオ

FM 鳥取（Radio Bird）の電波を利用し、防災行政無線と同時に自動起動して緊急情報をお知らせします。市内の販売店にて、2,000 円（税込）で販売しています。



鳥取市防災ポータルサイト

避難情報の発令エリアや避難所の開設状況、道路規制の情報などを地図や一覧表でリアルタイムに表示します。

浸水・地震・土砂などのハザードマップも確認できますので、平时から自宅周辺などの災害リスクを確認しましょう。



日ごろの備えと自主的な情報収集が大切です

日ごろの備え

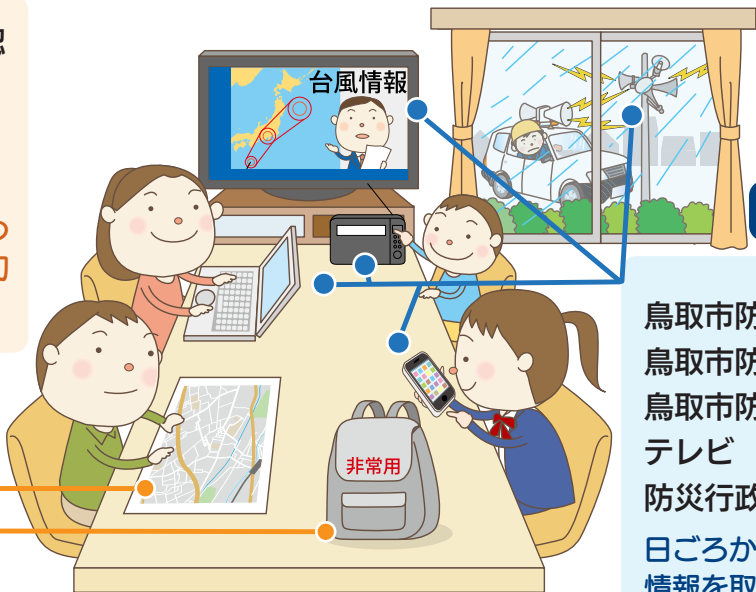
鳥取市総合防災マップの確認

非常持出品の用意

備蓄品の用意

雨樋、側溝、排水溝の掃除

家族で連絡手段や避難場所について話し合っておくことも大切です。



情報収集

鳥取市防災アプリ

鳥取市防災ポータルサイト

鳥取市防災ラジオ

テレビ

防災行政無線

日ごろからさまざまな手段で情報を取得する習慣を身につけておきましょう。

どのような被害が発生するのか

大雨は、河川の氾濫による道路の冠水や住宅の浸水をはじめ、土石流、がけ崩れ、地すべりといった複合的な災害を同時多発的に引き起こします。

令和5年8月の台風第7号では、佐治町をはじめ市内全域が観測史上最大級の猛烈な雨に見舞われ、住宅の損壊、崩落などによる道路の寸断、断水や停電、農地や農業用施設の崩壊、孤立集落の発生など、各地で多くの被害が発生しました。



いざという時に備えて

●非常持出品、備蓄品の準備

非常食、飲料水、医薬品、貴重品などを防災リュックにコンパクトにまとめ、非常持出品としてすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。また、災害による物流の断絶に備えて、最低3日分の備蓄品を用意しておきましょう。普段の食材を多めに買い置きし、使った分を買い足す「ローリングストック」という方法が有効です。古いものから消費するため、期限切れを防ぎながら一定量を維持できます。詳しくは鳥取市総合防災マップ（65頁）を参考に、各家庭に合った備えをお願いします。

●防災について家族で話し合っておきましょう

大雨による水害が起こった際に家族と一緒にいるとは限りません。いざという時のために自宅や学校、職場などの浸水や土砂災害のリスクについて、鳥取市総合防災マップや防災アプリなどで確認しましょう。自宅などに災害リスクがなく、備蓄品などが用意できる状況であれば、在宅避難が可能です。災害リスクがある場合は、安全な知人宅や避難所など、早めに水平避難できる場所を確認しておきましょう。休日に家族で避難所までの避難経路を散歩するなど、危険な箇所を事前に把握しておきましょう。



状況に応じた避難行動



●洪水が予測される場合は、早めに洪水浸水想定区域の外側の避難所等に避難（水平避難）しましょう。



●洪水が予測される場合は、避難所の上階へ避難（垂直避難）し安全を確保しましょう。

●避難所への避難が危険な場合は、近隣の高い建物や、今いる建物の上階に避難（垂直避難）しましょう。